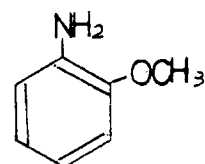


2-メトキシアニリン(0-アニシジン)の分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年2月2日～昭和51年4月10日
2. 試料名 2-メトキシアニリン(0-アニシジン)(試料No K-181)

分子式 C_7H_7NO

構造式



3. 試験方法及び条件

選保業第5号 }
薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
49基局第392号 }

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

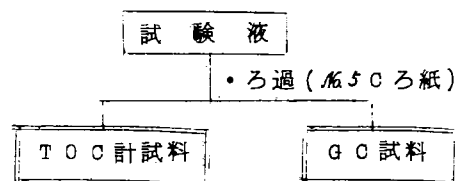
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計(TOC計)

流速 TOC回路 200 ml/min

温度 TOC炉 900℃

ガスクロマトグラフ(GC)検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 20%PEG 20M/クロモソルブW

ガラスカラム 2mmφ×2m

カラム温度 130℃

4. 試験結果

		分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	⑤	69.1	1	—
	⑥	40.0		
TOC計による結果	⑤	92.9	2	1
	⑥	72.3		
GCによる結果	⑤	100	3	2
	⑥	80.7		

5. その他

クローメーター2週間後汚泥系2点のうち1点の④は分解の途中であつたため分解度の算出は別々に求めた。

以 上